

www.r-toolbox.jp

toolbox

オーダー吊り戸棚

開き戸／フラップアップ

目次

安全上のご注意	1
キャビネットの施工（開き戸／フラップアップ）	2
扉の調整・取り外し・取り付け（開き戸）	3
耐震ラッチについて（開き戸）	4
扉の調整・取り外し・取り付け（フラップアップ）	5
取り付け後の点検	8

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項



しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意

警告



分解・改造はしないでください。
破損してケガをする恐れがあります。



**ネジ類で固定する際は、締めすぎて空回りしたり、
ネジの十字溝を破損して回しにくくならないようにしてください。**
固定が不十分になり、落下してケガをする恐れがあります。



必ず商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。
落下してケガをする恐れがあります。



移動などの際は、2人以上でしっかりと持ち上げてください。
落下してケガをする恐れがあります。
※PPバンドを持って運ぶと、商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがありますので、十分に気を付けてください。

注意



取付完了後は、扉の傾き・ガタつき・ヒンジの緩みがないことを確認してください。
調整後は、緩めていた全ての扉の指定ネジを硬く締め付けてください。
※締め付けが不十分な場合は、使用中に落下してケガをする恐れがあります。



棚受けダボは側板に完全に差し込んでから棚板をセットし、確実に棚板が固定されているか確認してください。
棚板への差し込みが不十分な場合、棚板が落下してケガをする恐れがあります。

■ 取り付け前の確認

下地位置の確認・各基準線の墨だし

取り付け時の基準となる墨をだしてください。
取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。
(※ 取付用木下地は現場でご準備ください。)

⚠ 警告

❗ 取付用木下地(厚さ 24mm 以上の合板)が、施工されていることを確認してから取り付けてください。
取付用木下地(厚さ 24mm 以上の合板)がしっかり取り付けられていないと、落下してケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

❗ 扉の可動範囲に火災報知器、窓枠など突起物がないか、事前に確認をお願いします。
❗ フラップアップのキャビネット設置前にご確認ください。
フラップアップは天井ギリギリの位置に設置すると、扉を最大開けきれず天井に当たります。扉が天井に当たらないためには、キャビネット上部と天井の間に 130mm 以上の間隔をとって設置してください。

■ キャビネットの施工

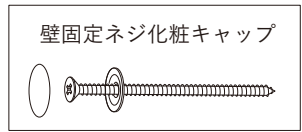
❌ 壁固定には使用しないでください。

同梱／台	壁固定ビス	正面	裏面	キャビネット 連結ビス	壁固定ネジ 化粧キャップ
吊り戸棚 の種類	⌀3.8×51 コースレッドビス			⌀3.8×25 コースレッドビス	ワッシャー・キャップ
開き戸 W250～800	8 (★4 / ★4)	★ 四隅の 4 箇所にビスを使用(必須) ● 必要に応じて使用(適宜)		4	12
フラップアップ W810～1200	8 (★4 / ★4)			4	12

⚠ 「キャビネット連結ビス」はキャビネット 1 台に対して 1set 入っています。
1 台のみの購入で連結しない場合は、キャビネット連結ビスを使用する必要はございません。

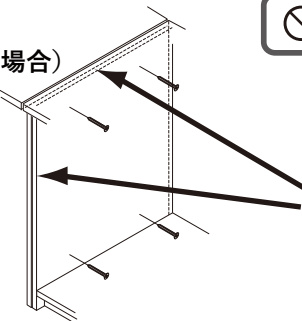
① 背壁への固定

キャビネット後ろ板に下孔をあけ、壁固定ビスで取り付けてください。

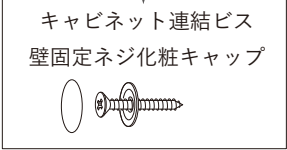


② キャビネット同士の連結 (複数台購入の場合)

隣接するキャビネットは、前面・上面を面一に合わせて連結してください。
キャビネット側板のガイド穴より下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。



❌ 壁固定には使用しないでください。



側板全面と側板上面が揃うように調整してください。

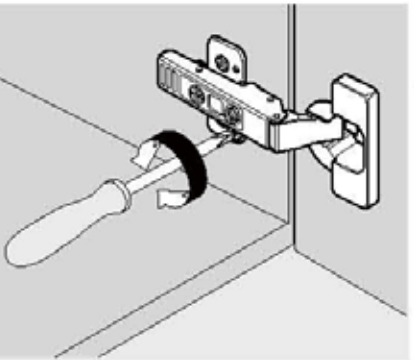
③ 扉の調整・取り外し・取り付け

開き戸 → P.3 をご覧ください。

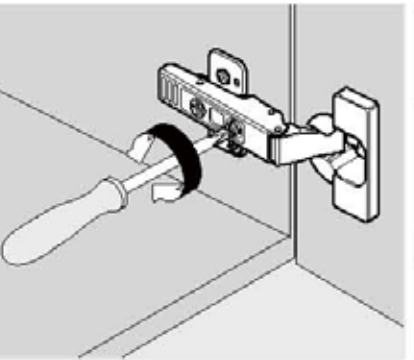
フラップアップ → P.5 をご覧ください。

■ 扉の調整

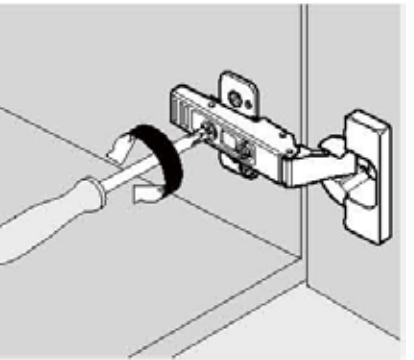
上下調整



左右調整



奥行調整

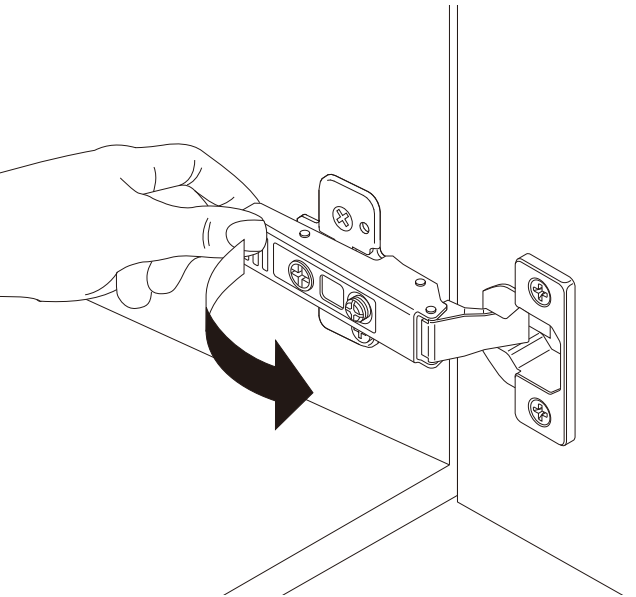


⚠ 注意

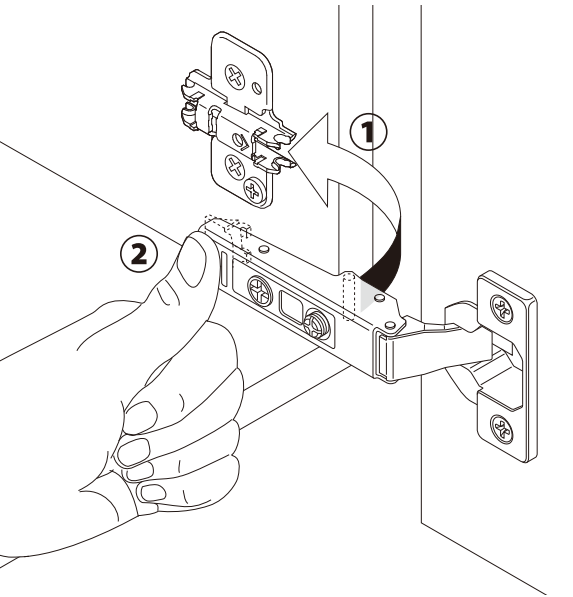
扉が正しく取り付けられていないと、扉が落下してケガをする恐れがあります。
上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

❗ 取り付け後、数回開閉を繰り返して、扉が正常に作動することを確認してください。

■ 扉の取り外し



■ 扉の取り付け



耐震ラッチについて

開き戸

■ 耐震ラッチについて

地震の発生時、感知式センサーが揺れを瞬時に感知し、開き扉の開放を防ぎます。



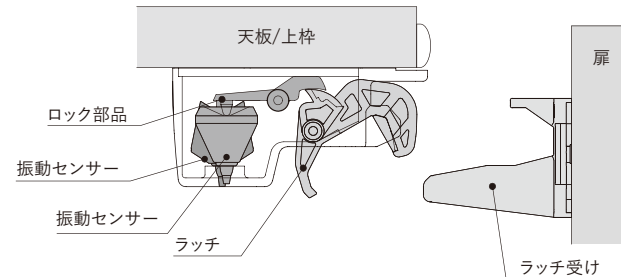
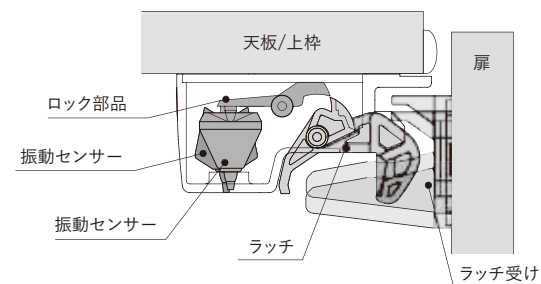
通常の状態（振動なし）

扉閉じ状態

扉開き状態

扉を完全に閉めるとこの状態になります。通常の状態では扉の開閉に伴い、ラッチが上下します。また、ラッチ受けは正しく作動するよう、自己調整します。

ロック部分にラッチが嵌合していないため、ラッチの先端が上昇しています。下図は扉が開いている状態であり、扉が閉じる前の待機状態です。



❗ キャビネットや扉が斜めに設置されているとロックが掛かかため、設置後に必ず扉が正常に作動することを確認してください。



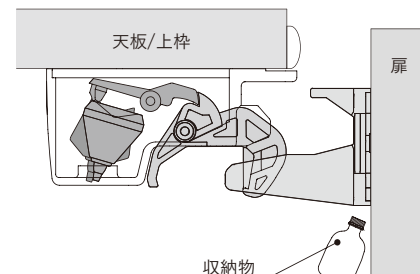
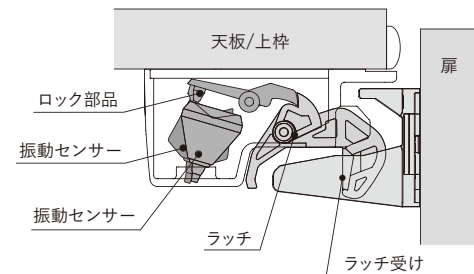
地震発生時（振動あり）

扉閉じ状態

扉開き状態

振動により振動センサーが揺動することにより、ロック部分が回転しラッチにロックを掛け、扉が開かなくなります。振動が止むと解除操作を行うことなく振動センサーが元の位置に戻り、扉開閉が通常通り行えます。

大きな振動の場合、扉に収納物などが寄りかかったままの状態が発生します。この状態ではロック部分とラッチがロックされており、収納物は落下しません。この場合でも、若干開いている扉を押すことによりロックを解除することができます。

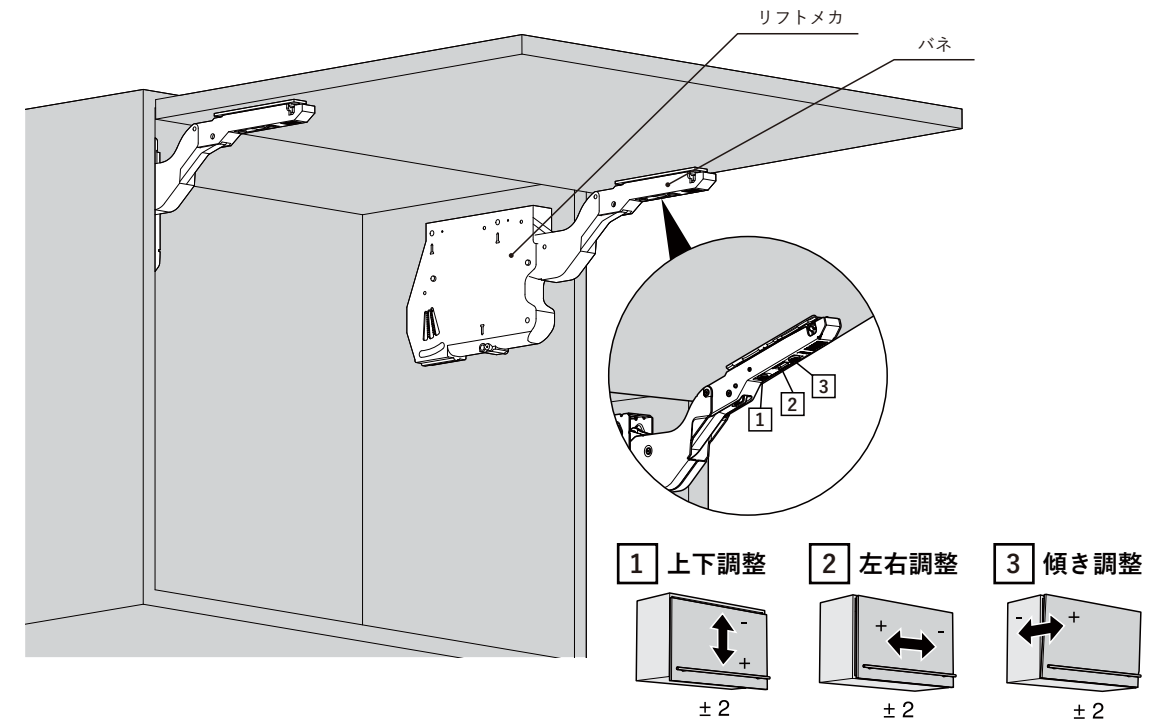


扉の調整・取り外し・取り付け

フラップアップ

■ 扉位置の調整

ポジ2ドライバーを使って、扉の3方向調整ができます。

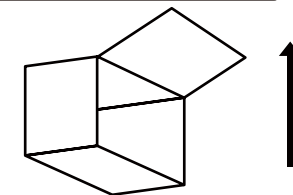


■ 扉のバネの力の調整

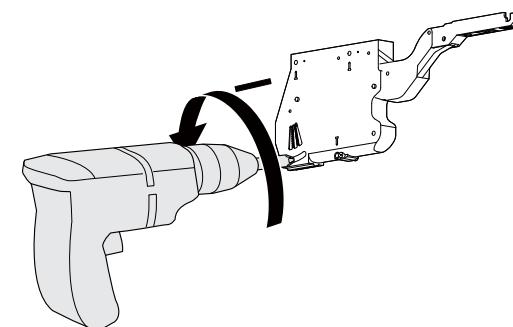


下記に記した状態になる場合は、リフトメカのバネの力を調整が必要です。コードレス電動ドライバーをご使用の上、調整してください。（電動ドライバーに専用ポジドライブビット【BIT-PZ】を付けてください。）

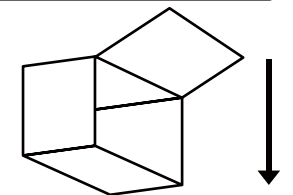
扉が自然と上がる場合



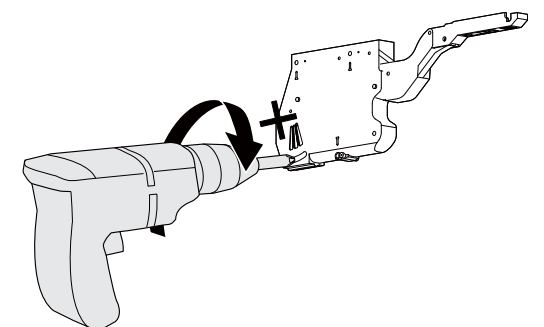
バネが強すぎるため、弱くします。



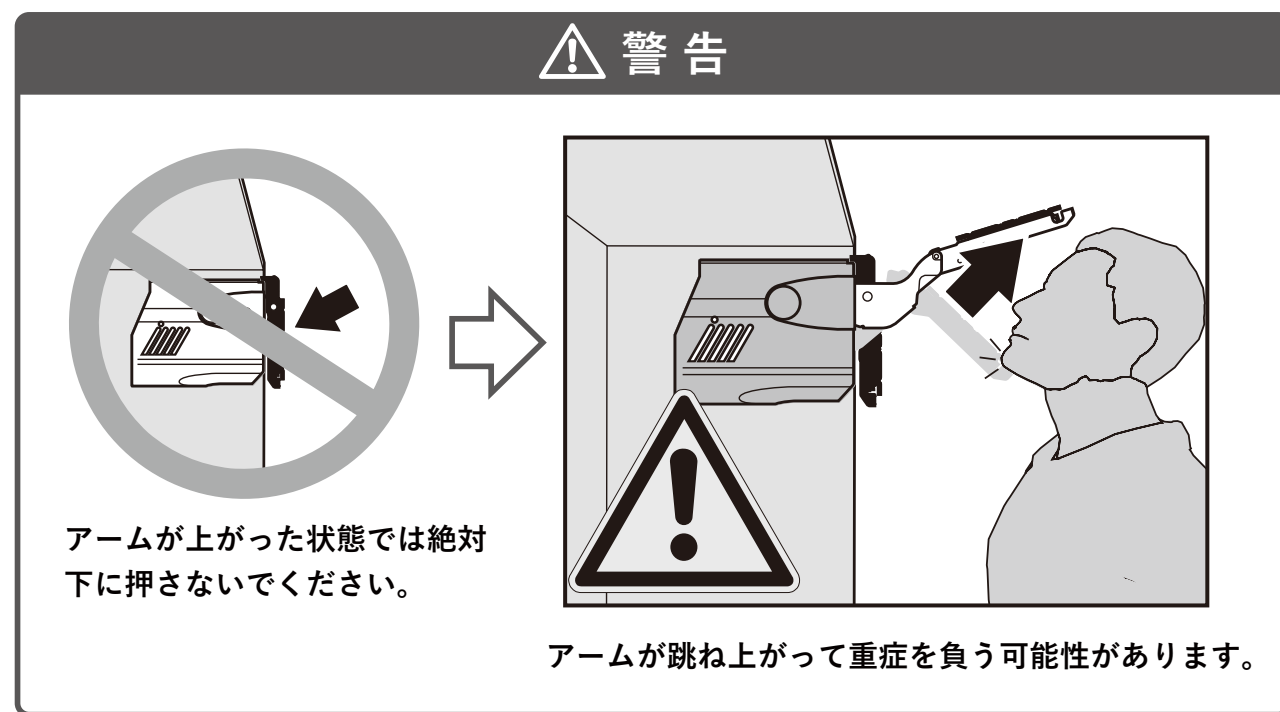
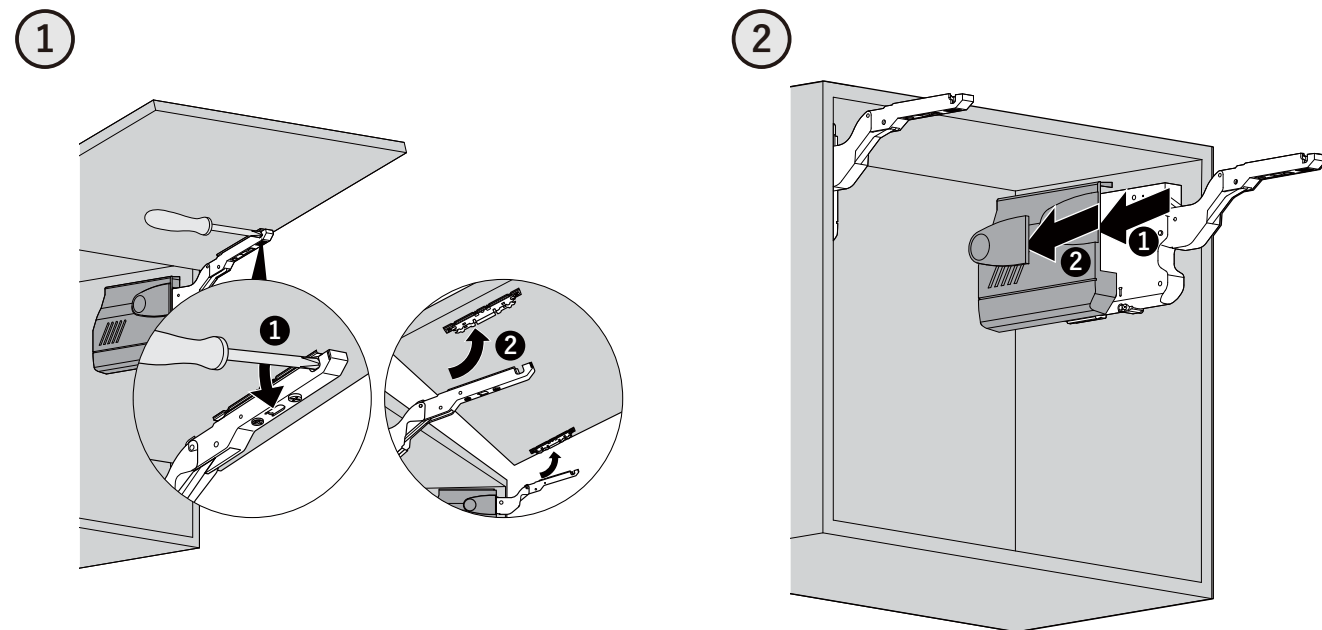
扉が自然と下がる場合



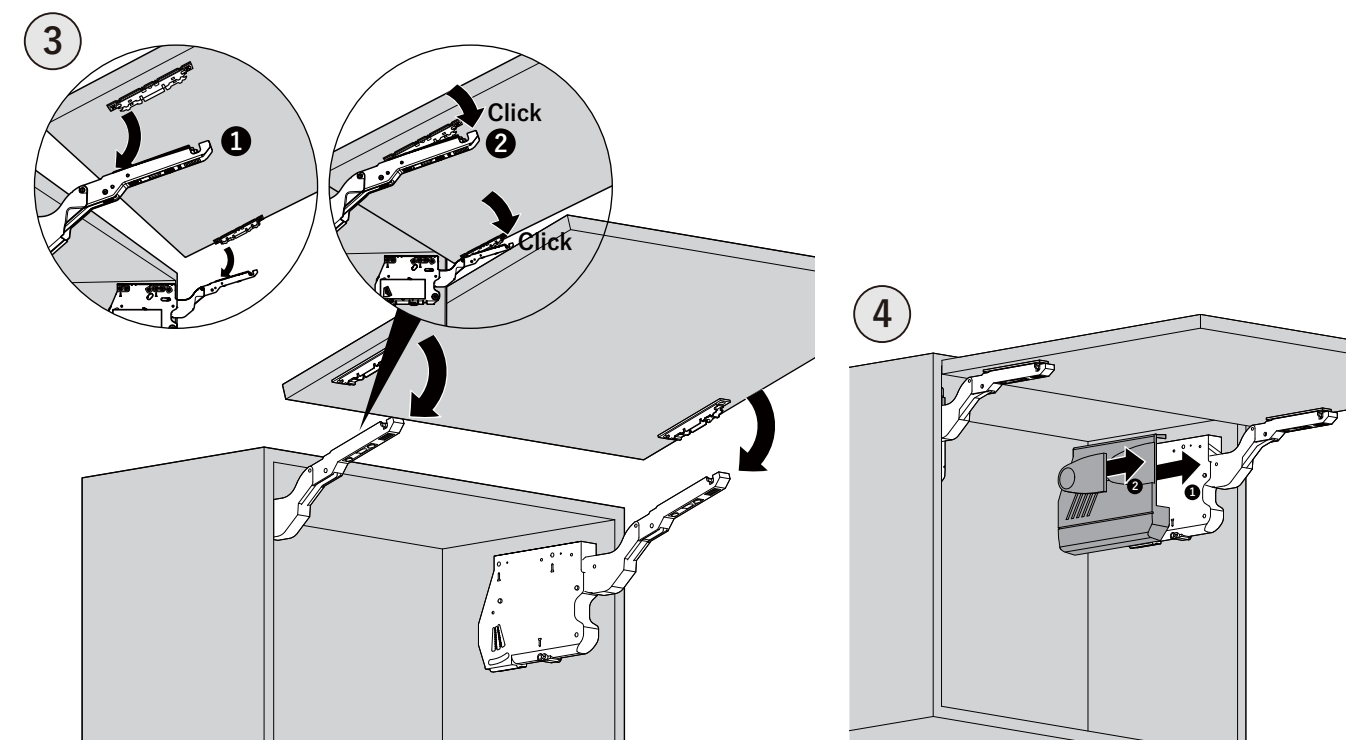
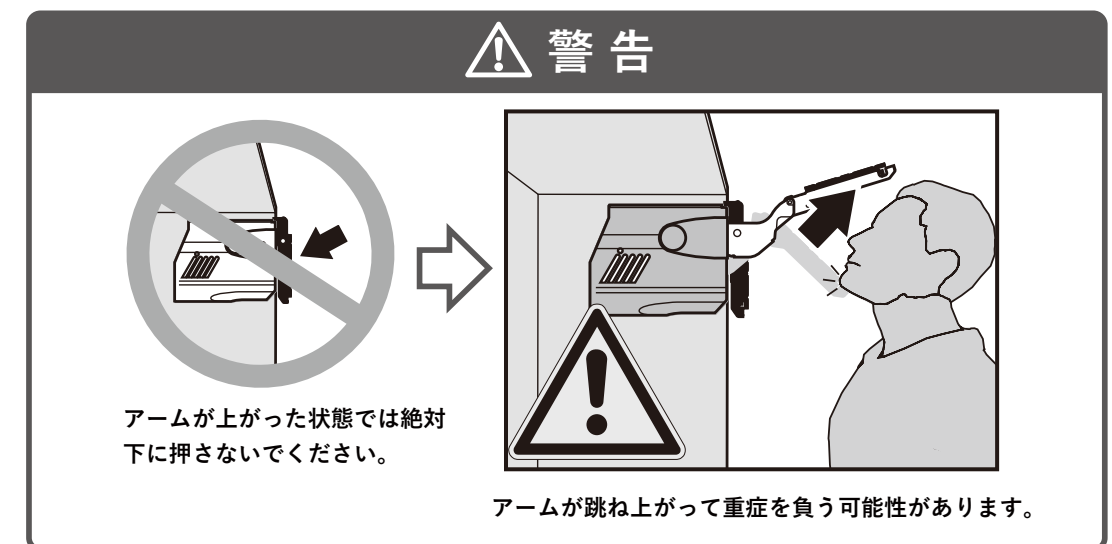
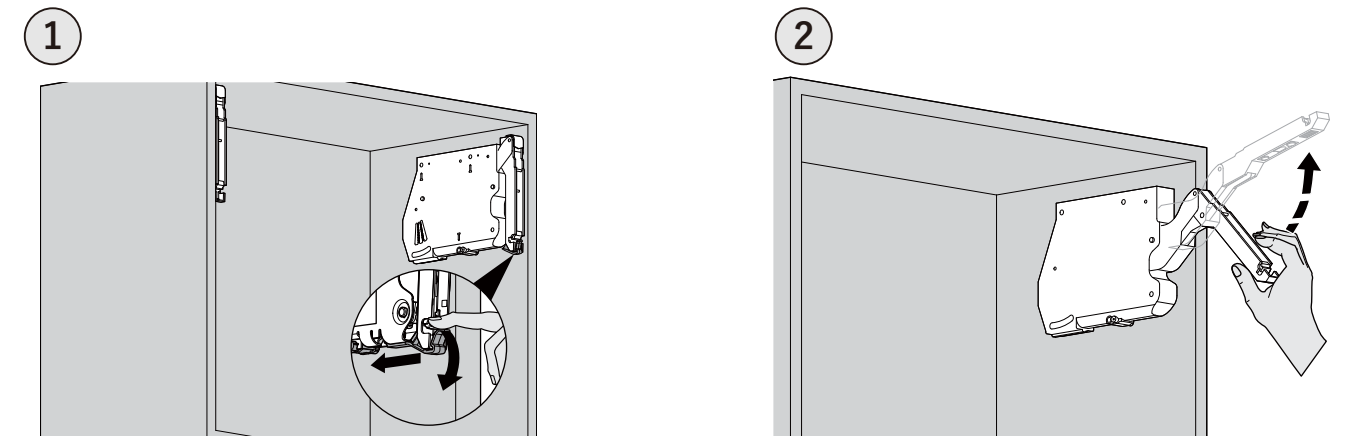
バネが弱すぎるため、強くします。



■ 扉の取り外し



■ 扉の取り付け



下記の表に従い、仕上りの点検をしてください。

吊り戸棚	キズ・汚れ・残材がない。
	壁面と固定されている。
	扉に傾き・ガタつきがない。
	扉が調節されている。
	確実に棚板が固定されている。